

東シナ海ブロック水産業情報

No. 111(2020年10月～12月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>特になし。</p>	<p>○有明海 【アサリ増殖関係】 稚貝着底基質(砂利袋)を12月中旬に約5,000袋設置。1月に2,000袋を追加設置予定。 【タイラギ母貝育成試験】 干潟縁辺部(DL 2m)において、垂下式によるタイラギ母貝育成試験を開始。 【ノリ養殖】 10月18日に野外採苗開始。 10月12～22日は <i>Skeletonem</i> spp.、10月26～29日は <i>Chaetoceros</i> spp.の赤潮により栄養塩は低下したが、色落ち等の被害なし。 秋芽生産は12月31日まで行われ、5～6回の摘採であった。1月15日の第3回共販で秋芽生産枚数、生産金額が確定する。5億枚を超える見通し。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・生産は順調で、平年を上回る見込み。 【栽培関連】 ・干潟での袋網試験を実施中。</p>	<p>○有明</p> <p>○玄海 ・カサゴ: 6月上旬から8月上旬に全長50～60mmを3.5千尾配布済。 6月下旬から7月上旬に全長60～70mmを5万尾配布済。 ・クロアワビ: 平成30年度産:4月下旬に放流用約3千個(30mmサイズ)を配布済。 令和元年度産:殻長20～33mm約2.4万個飼育中。 ・ナマコ: アオナマコは6月中旬から8月上旬に76.4万個配布済。 アカナマコは7月上旬から8月上旬に37.4万個配布済。 ・マサバ: 60mmサイズ約3.3万尾を唐津市へ引渡完了。</p>		<p>【10月】 プリでノカルジア症、シマアジでレンサ球菌症が発生。 【11月】 シマアジ及びカンパチでノカルジア症が発生。 【12月】 トラフグの肝機能障害。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・11月にスジアラ約1,200尾を生産。現在飼育中(76日齢 体長 44.8mm)。 ・イワガキ養殖用種苗4千個出荷(30mm)。</p>	<p>人工アカアマダイ親魚からの人工採苗の試み 陸上水槽にて継続飼育中の過去人工採苗で得られたアカアマダイ4～6才魚7尾を用いてHCG刺激による人工採苗を試みた。なお、精子は同時期採捕した天然鮮魚のものを用いた。 10/27に7尾にHCG接種を行い、10/30に腹部圧迫を実施し、うち6尾から卵143.6gを搾出し、授精、翌日に浮上卵が0.2g(約340粒)得られた。10/31に胚胎形成、11/1に1尾の受精卵からふ化観察プレート上でふ化仔魚2尾を確認した。さらに11/1に4尾を再度腹部圧迫し、卵33.2gを搾出し、授精、浮上卵分離を行い、11/2に浮上卵3.6g(約6千粒)を得て、11/3に約1,200尾のふ化仔魚を得た(孵化率:約20%)。その後は、無給餌飼育を行い、7日令まで生残を確認し終了。数量が少ないが、人工雌親魚からの人工採苗に成功した。</p>		<p>特記事項なし</p>